



親子クイズ

341

■締め切り／平成12年10月16日(月) 必着
 ■あて先

〒783-8501 南国市大堀甲2301
 南国市企画課「親子クイズ係」

■賞品／正解に近い方から、5人に図書券を進呈します。
 (同数の場合は抽選になります)

◎第340回親子クイズの答えは、
 クロシオ でした。

第340回当選者 応募総数 65通

コ	カ	シ
オ	ナ	ガ
カ	チ	ク
ヤ		チ
マ	ホ	ロ

島田 佳幸さん (領石)
 広井 健太さん (後免町)
 井上亜里沙さん (緑ヶ丘)
 井上枝里香さん (緑ヶ丘)
 佐藤 義里さん (大堀甲)

340回解答

今回の親子クイズは、10月1日の国勢調査にちなんだ問題です。

Q 国勢調査による南国市の人口はズバリ何人？
 「?万?千?百?十?人」

【参考】

平成7年9月末日住民基本台帳… 48,432人
 平成7年 国勢調査 … 48,192人
 平成2年 国勢調査 … 46,823人

【賞品】

1等…5千円 2等…4千円 3等…3千円
 4等…2千円 5等…1千円 相当の図書券

【発表】

平成13年の広報なんこく1月号掲載の予定

市民からのお便り
 当たり前すぎて当たり前なので、だんだんやみつきになってきました。いしかぎのまちをめぐり...

みんなの広場

親子クイズは、広報委員が南国市に関連することを毎月順番に考えています。親子クイズの問題を募集しますので、ふるってご応募ください。

第5回 菊人形・菊花展 土佐日記つらゆき時代まつり

オープニング

■とき／11月1日(木)
 16:00~18:00
 ■ところ／市商工会館駐車場
 ■内容
 ▶鏡開き・振る舞い酒・もち投げ
 龍馬維新太鼓 ほか

▶小野小町を演じる
 島崎和歌子さん



菊人形・菊花展

■とき
 11月1日(木)~10日(金) 終日展示
 ■ところ／市商工会館駐車場

メイン行事

■とき／11月5日(日) 9:30~16:30
 ■ところ／市商工会館駐車場
 ■内容
 ▶つらゆき杯ウルトラクイズ 10:30頃~
 (参加者は当日受付)
 ▶もち投げ(2回) 10:00頃・15:00頃
 ▶島崎和歌子トークショー(2回)
 12:30頃・15:30頃
 ▶終日楽しい催しがあります

■とき／11月5日(日) 9:30~16:30
 ■ところ／後免町商店街
 ■内容
 ▶ぐるっと後免クイズラリー 10:00~15:00
 ▶こどもストリート絵画展
 ▶縁日 ほか

大湊出港祭	門出のまつり
■とき／11月5日(日) 11:30~	■とき／11月5日(日) 9:30~
■ところ／前浜(大湊)	■ところ／紀貫之邸跡(比江)

時代行列

■とき／11月5日(日)
 ▶第1部／9:40~ 紀貫之邸跡(比江)
 ▶第2部／11:20~ 大湊
 ▶第3部／14:30~ 後免町と電車通り

※お問い合わせは、市商工会つらゆき時代まつり事務局(☎864-3073)まで

にこ写すっ

市民からのお便り

高知国体も早や2年後になり、私たちも地域で協力会員となり皆さんで成功させたい思いで一杯です。

趣味は車の運転で、ワゴン系の車が好きです。

サンシャイン店内の靴屋に勤めて5か月になりますが、いつも言葉使いに気を付けて接客をしています。

南国市はとても住みやすい場所ですが、もっとレジャー施設など増えて欲しいです。

夢はトリマー（動物の美容師）



滝口清子さん（駅前町）

岡村陽子さん 彰夫さん（大浦乙）



今年の2月末、定年退職を機に明石市から大浦に引っ越して来ました。

現在、妻と二人暮らしです。運動不足が気になり、夫婦でスポーツセンターのトレーニングルームをよく利用しています。

夫婦仲良く健康で

時間の制限がなく料金も安いのもっとたくさんの方々に利用して欲しいと思います。

南国市を知るうえでも、こういった施設を利用することも大事ではないでしょうか。

投稿記事

土佐日記門出のまつり

― 国府紀氏邸跡にて ―

国府史跡保存会（会員770名）は南国市商工会と南国市の共催で11月5日（日）に「第17回土佐日記門出のまつり」を開催します。

行列が出発します。その他、地域の公民館活動の作品・史跡紹介コーナー・俳句入選作品（一般・小中学生）の展示・抹茶・あめゆ・ぜんざいなどの接待と、多彩な催しを計画しています。

当地国府は奈良・平安時代の国庁（現在の県庁）が置かれた場所です。その第48代の国史が、宮廷歌人であり古今和歌集編纂の有名な紀貫之で4年の任期を終え、京都への船旅の帰路（55日間）を綴った「土佐日記」が現存しています。その日記は当地国府から始まり1070年昔の土佐の風土、人情を叙し、現在まで残っている地名も多く記載され、我が国最初の、かな文字の文学性豊かな紀行文で、日本国文学史上非常に高い評価をされています。

貫之の残してくれた文化の源流を汲み取るべく我々会員が丸となり頑張っているところでは、この祭典は、県内外の関心も深く市民の皆様も是非当地へお越しください。

式典後平安絵巻を彷彿させる仮装行列は、紀氏邸跡を出発、続いて大湊、後免町（途中はバス移動）へと「練り」はつづき、最後は南国市商工会館広場で市民の『精神イベント』の一日が終了します。商店街、南国市の活性化はもとより千年の昔に想いを馳せ、菊薫る頃の文化の香りを満喫し心のやすらぎを分かち合いまししょう。

まほろばの里に平安絵巻

この日記を残してくれた紀貫之の顕彰のため「土佐日記門出のまつり」の祭典が当会員の手作り始まり、年を重ねるうちに市民の祭りに定着し、現在では関係団体の協力を得て挙行されています。

国府史跡保存会

事務局長 竹内紀子

式典は紀氏邸跡において午前9時30分から始まり、9時40分から「つらゆき時代まつり」の